

アジア獣医外科年会
11 / 15 談話概要

現状：

1. 会議申請：国際レベルなので、申請過程に入っていますが、通ってからではないと正式に宣伝できません。
2. 会議名称：元の‘第19回中国畜産獣医外科学術検討会兼第2回アジア獣医外科医学学術検討会’を‘第2回アジア獣医外科医学学術検討会兼第19回中国畜産獣医外科学術検討会’と改名し、国際性をアピールします。
3. 会議のテーマを‘実用獣医外科技術と原理’と暫定。
4. 位置づけと特色
 - 甲. 国際会議、中国語と英語の併用
 - 乙. プロフェッショナル性、獣医学校外科関連の教育研究機関および外科 領域に興味を持つ臨床獣医師をリスナーとする。
 - 丙. ディーテル度、高品質の教育研究内容を伝え、良質な食事、厳格な国際カンファレンスマナー。人数を控えめにし、およそ300人の‘エリート’式の参加を原則とします（50-60人ほどのゲスト）。
5. 会議場所（南京農業大学かその付近のホテルで行うのか？同時に複数の会を行うので、比較的大目の講演ホールが必要）：会場は南京農業大学ホテル：翰苑ビルディング、交通が便利。
6. 両ホール。中国語ホール（250-300人）6階、英語ホール（約100人）10階、現場の中国語通訳は台湾もお手伝します。
7. 会議前会議：南京農大教育エリアにて、会議前1から2日に実際操作するワークショップがあるので、講師に早めに来ていただいて司会してもらうことができます。国際の実験動物使用慣例にあわせるため、なるべく死体か非動物モデルを使用。
 - 甲. 整形外（骨）科基本操作
 - 乙. 麻酔基本操作
 - 丙. 無菌基本操作
 - 丁. その他
8. どのように会議の情報をアジアのほかの国に伝えるのか？（ホームページの製作が必要なのか）：すでにアドレスはあり、トップページ的设计にかかっています、設計完了および会議申請が通れば公告できます。
9. 自費参加者の参加費の値段は？支払い方法は？クレジットカードの使用は？それとも先に予約し現場で支払うのか？現在参加費は暫定800人民ドル、学生は半額、スポンサーや予算の算出を待ってからではないと確定できません。
10. 講演のテーマ、論文投稿およびポスターを以下の小テーマに分けることを提案します：
 - 甲. 軟部組織外科
 - 乙. 整形外（骨）科および神経外科
 - 丙. 歯科
 - 丁. 眼科
 - 戊. 麻酔鎮痛
 - 己. 大動物およびエキゾチック外科
 - 庚. 動物福利
11. 交流は中国語と英語の二択
12. 英語講演テーマの審査学術委員はアジア獣医外科学会で‘講義審査学術委員会’を結成、審査。学

術委員会は各国代表が小テーマごとに候補とcvを提出、Dr・佐々木が選定後に招待、基本的な要求とし1. 豊富な教育経験および相応の学職2. 研究成果および発表している3. 豊富な臨床経験、できれば学术界から選定。

1 3. アジア講義審査学術委員会委員人数および専門領域

甲、招集者：Dr. 佐々木または任命者

乙、軟部組織外科 2

丙、整形外(骨)科および神経外科 2

丁、歯科 1

戊、眼科 1

己、麻酔鎮痛 1

庚、大動物およびエキゾチック外科 2

1 4. コースブック論文集用の摘要はなるべく短めでページ数を少なめにし、基本的パワーポイントは使用せず、翻訳の仕事は台湾に協力を要請できます。

1 5. 教育講義はどのように決定するのか？そしてどのような講義内容が必要なのか？招待した講演者には旅費以外の報酬は必要か？どれほどの報酬を？原則として審査の学術委員も講演を負擔し、審査費と講演費を一回で清算できる。予算により欧米の講師も招待する必要がある(Amy, WingTip)

1 6. 委員会会議(アジア、中国)ボードミーティング特別テーマ：アジア各国の獣医外科訓練の紹介、目的：お互いに学び、アジアスタンダードの制定、獣医訓練の品質向上。

1 7. いつから投稿を受け付けるのか？どこに投稿するのか？どのように審査するのか？Eメールでの投稿か？2012年初に公告し投稿を受けつけ、一律Eメールでの投稿とし、プリゼンとポスターに分け、すべて英語を使用、一律南京大学侯教授が用意したメールアドレスに投稿した後、TCVSの葉教授が整理およびその専門領域の審査委員への転送をアシスト。

1 8. スポンサーのサーチは？

甲、侯教授が各薬品会社、器具メーカーと医療メーカーと面談を開始。

乙、Dr. 葉が各国現地の外科学会組織および会議のスポンサー、トップページなどを集め、参考にする

丙、人医学会のスポンサーをにスポンサーを考慮してもらおう(大陸 Synthes)

丁、佐々木先生に日本の企業および国際企業への働きかけを依頼

戊、外科関連の機材などを購入できることを宣伝

困難：

会議が多く、十分なスポンサー獲得が困難。来年中国で大型のカンファレンスは：

1. 第8回北京ペット医師大会 9月
2. 第1回中国小動物獣医師大会 4月 南京 (林徳貴)
3. 東西部小動物獣医師大会 5月 杭州
4. 中国獣医大会 10月 江蘇蘇州
5. 中国畜産獣医外科学会 11月 南京
6. 華南小動物獣医師大会 12月 広州

困難：

FASAVAもアジア外科専門訓練スタンダードの制定に意欲あり

Dr. 劉朗: will withdraw